

令和8年(度)安全衛生管理推進計画書

(運輸業用)

整理番号

令和 年 月 日

必ず「令和8年度版」による様式で作成していただき提出してください。
詳細等については管轄の監督署へお問い合わせください。

事業場

労働者数を忘れず記入してください。

(企業全体ではなく該当事業場の労働者数を記入)

代表者職氏

8年(度)より、(うち、年齢60歳以上)を追加しています

労働者数(派遣を含む)	男 名	女 名	計 名	労働保険番号	府 県 所	管 轄	基 幹	番 号	枝 番 号
(うち、外国人労働者)	(名)	(名)	(名)						
(うち、年齢60歳以上)	(名)	(名)	(名)						
業 種 (事業の概要)									

I 安全衛生活動の実施計画 (独自に作成したものを添付される場合には、下表には「別添のとおり」とご記入ください。)

労働安全衛生規則第21条(安全委員会の付議事項)・第22条(衛生委員会の付議事項)

重点対策事項	具 体 的 実 施 計 画	実施予定月
(1)		月
(2)		月
(3)	「安全衛生管理推進計画の策定にあたって」(令和8年度版)内の 取組例を参考に安全衛生活動の年間計画を記入してください。 なお、社内様式で作成している場合には「別添のとおり」等と記入の上、 作成した実施計画を添付してください。	月
(4)		月
(5)		月
(6)		月
		月

II 安全衛生管理等の状況

1. 労働災害(通勤災害を除く)発生状況(過去3年)(注:()内には交通労働災害を内数で記入すること。)

年 別	死亡	休業4日以上	休業1日～3日	計	不休災害
令和5年(度)	名 (交災 名)	名 (交災 名)	名 (交災 名)	名 (交災 名)	名 (交災 名)
令和6年(度)	名 (交災 名)	名 (交災 名)	名 (交災 名)	名 (交災 名)	名 (交災 名)
過去3年間、不休災害を除き、死亡・休業災害がない場合は、無災害開始年月日を記入してください。					名 (交災 名)
過去3年間無災害の場合は、無災害開始年月日					名 (交災 名)
平成・令和 年 月 日					

2. 安全衛生管理体制

(1)各管理者等の選任状況等 (労働安全衛生規則第2条・第4条・第7条・第13条・第12条の2)

種 別	氏 名	選任年月日	種 別	氏 名	選任年月日
総括安全衛生 管理者 ※		・ ・	産業医 ※		・ ・
安全管	各級管理者等の選任状況と安全衛生委員会等の状況について記入してください。				
衛生管理者 (1種・2種) ※		・ ・	衛生推進者		・ ・

(2)安全衛生委員会等を組織し、月1回以上開催していますか
(50人以上の事業場) (労働安全衛生規則第23条)

はい いいえ 該当しない

(注:※については、選任状況に変更が生じた場合、所轄の労働基準監督署に様式3号による選任報告の提出が必要です。)

3. 車両等の保有台数

大型貨物自動車	台	中型・普通貨物自動車	台	ワゴン等の商用車	台
けん引自動車		各車両等の保有台数を記入してください。			台
フォークリフト	台	移動式クレーン	台	その他の荷役等機械	台

4. 第14次労働災害防止対策

(1) 転倒災害対策(ハード・ソフト両面からの対策)に取り組んでいますか	はい	いいえ
(2) 「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(指針)」に基づく取組を実施していますか	はい	いいえ
(3) 外国人労働者を雇用していますか	はい	いいえ
(4) 母国語に翻訳された教材、視覚教材を用いるなど		外国人がいない
(5) 対応すべき健康被害	(1)～(10)の取組状況等を確認し、○をつけてください。	
(6) 通知対象物質		いいえ
(7) ((6)において「はい」の場合のみ記載願います) リスクアセスメントの結果に基づいて、 危険又は健康障害を防止するため必要な措置を実施していますか	はい	いいえ
(8) 熱中症災害防止のために暑さ指数を把握していますか	はい	いいえ
(9) 正社員以外への安全衛生教育を実施していますか	はい	いいえ
(10) (労働者数50人未満の事業場の方にお聞きします) ストレスチェックを実施していますか	労働者数 50人以上	はい いいえ

5. 労働安全衛生マネジメントシステム等の取組(JIS Q 45001及びJIS Q 45100)

(1) 事業者は、安全衛生方針を表明し、労働者に周知にしていますか	はい	いいえ
(2) 安全衛生に関する目標を立てていますか	はい	いいえ
(3) 安全衛生に関する計画を立てていますか	(1)～(8)の取組状況等を確認し、○をつけてください。	
(4) 安全衛生計画の実施結果について計画・改善を行っていますか	はい	いいえ
(5) 労働災害・事故・ヒヤリハット事例等について、改善を行っていますか	はい	いいえ
(6) 化学物質のうち通知対象物質 ^(※) に係る作業を行っていますか	作業現場等で使用されている化学物質が「通知対象物質」に該当していないかこちらのサイトでご確認ください。	
(7) 通知対象物質 ^(※) に対する危険性又は有害性等を把握していますか		
(8) (1)～(7)について、定期的に見直しを行っていますか		

(※)通知対象物質は検索サイト等で確認できます。作業場等で使用している化学物質が通知対象物質に該当していないかご確認ください。

◎ ラベル表示・SDSによる通知対象物質の確認はこちらから ⇒
厚生労働省「職場のあんぜんサイト」



6. 有害業務による健康障害防止対策(注:「局排」とは局所排気装置、プッシュプル換気装置のこと。)

有害業務の有無 (有無に○)		有害業務が有の場合に記載してください。						
		(具体的な名称等を記入)			(該当するものに○)			
		有害物質名等	作業名等	従事労働者数	局排	作業環境測定結果	特殊健康診断	
有機溶剤業務	有・無			名	有・無	実施 未実施 不要	第1管理区分 第2管理区分 第3管理区分	実施 未実施 不要
特定粉じん	有・無	該当する有害業務等の有無を確認し、業務がある場合は各項目に記入してください。						
(「有」の場合は下記9の記載をお願いします)	有・無			名	有・無	未実施 不要	第2管理区分 第3管理区分	未実施 不要
上記以外	有・無			名	有・無	実施 未実施 不要	第1管理区分 第2管理区分 第3管理区分	実施 未実施 不要

7. 定期健康診断実施状況

(1) 定期健康診断	(1)～(4)の実施状況等を確認し、○をつけてください。				はい	いいえ
(2) 定期健康診断の結果について医師等からの意見聴取を実施していますか(労働安全衛生規則第51条の2)					はい	いいえ
(3) 健康診断結果報告書の提出は労働者50人以上の事業場のみ義務がありますが、有所見率(異常のあった方の割合)は規模に関係なく全ての事業場で確認してください。						該当者なし
(4) 令和7年度						該当しない
有所見率(%)	5年	%	6年	%	7年	%

(注: 有所見率は、労働者の規模に関わらず記入してください。)

8. 過重労働による健康障害の防止(労働安全衛生法第66条の8関係)

過重労働による健康障害防止のための総合対策		知っている	知らない
(1) 前年1～12月に月80時間超の労働者	長時間労働の実績等について○をつけてください。 面接指導の実施が「有」の場合は実施者数も記入してください。		いなかった
(2) 令和7年の面接指導			対象者なし

9. メンタルヘルス対策(労働安全衛生法第66条の10関係)

(1) 安全衛生委員会等においてメンタルヘルス対策の調査審議	審議あり		審議なし	
(2) メンタルヘルスを理由とした休業者の有無、人数、休業日数の把握	把握あり		把握なし	
(3) こころの健康づくり計画の策定	策定している	策定していない	今後予定	
(4) 事業場内メンタルヘルス推進担当者の選任	選任している	選任していない	今後予定	
(5) メンタルヘルス対策の実施状況	(1)～(11)の取組状況等を確認し、○をつけてください。			今後予定
(6) 常時使用する労働者の面接指導				今後予定
(7) 面接指導(高ストレス者が申し出た場合)	実施	未実施	申出者なし	今後予定
(8) 面接指導の結果による医師からの意見聴取、就業上の措置	実施	未実施	対象者なし	今後予定
(9) ストレスチェック結果の集団分析及びその結果を活用した職場環境改善	実施	未実施		今後予定
(10) 仕事上の不安・悩み・ストレスの相談先	相談先あり(社内)	相談先あり(社外)	なし	今後予定
(11) 山形産業保健総合支援センターの支援を希望しますか(無料) *「希望する」に○を付された場合は、労働局より山形産業保健総合支援センターに対しその旨伝えさせていただきます。	希望する	希望しない	既に利用	

10. 粉じん障害防止対策(第10次粉じん障害防止総合対策)

(1) 粉じん作業はありますか	ある		なし	
(2) アーク溶接作業はありますか	ある(屋内)	ある(屋外)	なし	
(3) 金属等の研磨	(1)～(7)の取組状況等を確認し、○をつけてください。		ある(屋外)	なし
(4) 粉じん作業を行う労働者の健康診断			いいえ	
(5) 「粉じん保護具着用管理責任者」を選任していますか	はい	いいえ	該当しない	
(6) 「たい積粉じん清掃責任者」を選任していますか(粉じん則第24条 粉じん作業を行う屋内作業場)	はい	いいえ	該当しない	
(7) 就業時・離職時を含むじん肺健康診断を実施していますか	はい	いいえ	該当しない	

11. 化学物質対策

(1) 皮膚等障害化学物質を取り扱う業務に従事する労働者に対し、皮膚障害等防止用保護具を使用させていますか(令和6年4月より義務化)	はい	いいえ	準備中	該当しない
(2) 化学物質管理者(選任要件: RA対象物質)	(1)～(4)の取組状況等を確認し、○をつけてください。		いいえ	該当しない
(3) 保護具着用管理責任者を選任(準備)していますか(令和6年4月より義務化)	はい	いいえ	準備中	該当しない
(4) 金属アーク溶接作業に従事する労働者の呼吸用保護具のフィットテストを実施していますか(令和5年4月より義務化)	はい	いいえ	該当しない	

12. 荷役作業安全ガイドライン

(1) 運輸事業者として実施すべき安全対策を講じていますか	はい	いいえ
(2) 荷主等	12、13の各項目について、取組状況等を確認し、○をつけてください。	

13. 自発的安全衛生活動への取組状況

(1) 昨年度、「やまがたゼロ災運動・2025」(10/1～11/30)に取り組みましたか	運動を知らなかった	取り組んだ	取り組まなかった
(2) 昨年度、「冬の労災をなくそう運動」(12/1～2/28)に取り組みましたか	運動を知らなかった	取り組んだ	取り組まなかった

14. 転倒災害防止対策

(1) 作業用	<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; color: red; font-weight: bold;"> 14～18の各項目について、取組状況等を確認し、該当するものに○を付してください。 ただし、17は労働者数50人未満の事業場のみご記入ください。 </div>
(2) 作業用	
(3) 台車等	
(4) チェット	
(5) 転倒危	
(6) ストレ	

◆冬期における転倒災害防止対策

(1) 凍結等による転倒防止のため転倒しやすい場所の「危険マップ」を作成し、周知していますか	はい	いいえ
(2) 除雪・消雪剤の散布による安全な通路を確保していますか	はい	いいえ
(3) 室内通路や作業場所の雪による床面の水濡れ等を除去していますか	はい	いいえ
(4) より滑りにくい履物の使用やポケットに手を入れて歩かない等について教育していますか	はい	いいえ

15. 高齢労働者に対する安全と健康確保対策

(1) 高齢労働者の健康や体力の状況を把握していますか	はい	いいえ
(2) 加齢による身体機能の低下等に合わせた職場環境の改善を行っていますか	はい	いいえ
(3) 加齢による身体機能の低下等に合わせた作業負荷の低減を図っていますか	はい	いいえ
(4) 個々の労働者の健康や体力に応じた作業内容の見直しを行っていますか	はい	いいえ
(5) 大きくて見やすい表示等の作業環境の改善を図っていますか	はい	いいえ

16. 交通労働災害防止のためのガイドライン

(1) 管理体制

交通労働災害防止に関係する管理者(安全管理者、運行管理者、安全運転管理者等)を選任していますか	いる	いない
---	----	-----

(2) 交通労働災害防止に関係する管理者の職務の励行

ア 交通労働災害防止の安全衛生計画を作成していますか	いる	いない (イへ進む)
① 過去の交通労働災害の発生状況等を考慮した具体的目標を立てていますか	いる	いない
② 基本事項・重点実施事項について、実施期間・実施者を定めていますか	いる	いない
③ 定期的に計画の達成状況の評価や必要な見直しを行っていますか	いる	いない

イ 労働時間の管理

① 拘束時間は、1日あたり13時間(上限15時間、14時間超は週2回まで)となるよう管理していますか	いる	いない
② 運転時間は、2日平均で1日9時間以内、2週平均で1週44時間を超えないよう管理していますか	いる	いない
③ 連続運転時間は、4時間以内となるよう管理していますか(1回連続10分以上、かつ、合計30分以上の休憩を与える)	いる	いない
④ 休息時間は、継続11時間以上与えるよう努め、9時間を下回らないよう管理していますか	いる	いない

ウ 走行管理等

① 走行経路の調査、走行計画の作成等により、適正な走行計画を作成していますか	いる	いない
② 乗務記録、タコグラフ等による適正な走行管理を行っていますか	いる	いない
③ 走行前点検、長距離の場合の途中点検、走行後点検等の必要な措置を講じていますか	いる	いない
④ 点呼等において、運転者の服装、履物、体調等のチェックを行い必要な措置を講じていますか	いる	いない
⑤ 異常気象、天災等が発生した場合の連絡体制や待機場所等について方針を示していますか	いる	いない
⑥ 最大積載量の遵守、偏荷重のない積載、荷崩れ等防止措置を講じていますか	いる	いない
⑦ 荷役作業における身体負荷を減少させるための適切な荷役用具・設備の備付け等を実施していますか	いる	いない
⑧ 荷主・元請等と運送事業者が協働し、適切かつ安全な運行の確保に努めていますか	いる	いない

エ 教育等の実施、意識の高揚等

① 労働者に対して、雇入れ時教育・交通危険予知訓練・災害事例講習等を行っていますか	いる	いない
---	----	-----

オ 運転者認定制度等の導入

山形労働局においては、各事業場において一定の教育を受けた者や認定試験に合格した者に対してのみ運転業務を認める「運転者認定制度」を設けるよう指導していますが、この制度を

・設けている ・今後設ける予定(年 月頃) ・設ける予定はない

17. 治療と仕事(就業)の両立支援について

(1) 治療と仕事(就業)の両立支援のための指針を知っていますか	はい	いいえ	
(2) 治療と仕事(就業)の両立を実現しやすい体制づくり・環境整備を図る計画を策定していますか	はい	いいえ	
(3) 山形産業保健総合支援センターの支援を希望しますか(無料) *「希望する」に○を付された場合は、労働局より山形産業保健総合支援センターに対しその旨伝えさせていただきます。	希望する	希望しない	既に利用

18. 地域産業保健センターの利用等(規模50人未満の事業場に限る。)

(1) 地域産業保健センターを利用していますか	はい	いいえ
(2) (1)を「いいえ」と回答した場合、今後利用を希望しますか(原則無料)	希望する	希望しない